

千葉県地域生活支援給付の利用者負担上限額管理事務の取扱いについて

千葉県地域生活支援給付の統合上限額
地域生活支援給付に係る利用者負担額を障害福祉サービス 及び障害児通所支援（※） の利用者負担額と合算し、障害福祉サービスの負担上限月額を超える金額のうち地域生活支援給付の利用者負担額

（※）・・・新規に追加される事項

1 平成24年4月以降の統合上限額管理の概要

障害福祉サービスの仕組みと同様に、上限額管理事業所を定め、当該事業所が統合上限額管理を行い、管理を行った登録事業所に対して一律に加算を行う。

(1) 管理対象者

地域生活支援給付受給者証（三）の欄中「利用者負担上限額管理対象者該当の有無」欄に「有」と記載されており、以下に該当する方

- ア 障害福祉サービスに加えて地域生活支援給付を利用する方
- イ 障害児通所支援に加えて地域生活支援給付を利用する方（※）
- ウ 地域生活支援給付を複数の事業所で利用する方

(2) 管理事業所となる順位

以下のアからオの順位とする。

ア 障害児通所支援における上限額管理事業所（※）

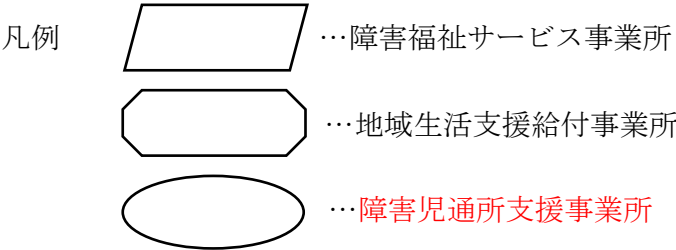
- イ 障害福祉サービスにおける上限額管理事業所
- ウ ケアホーム及びグループホーム
- エ 登録地域生活支援給付サービス事業所

オの中で複数の事業所を利用する場合については以下の順序とする。

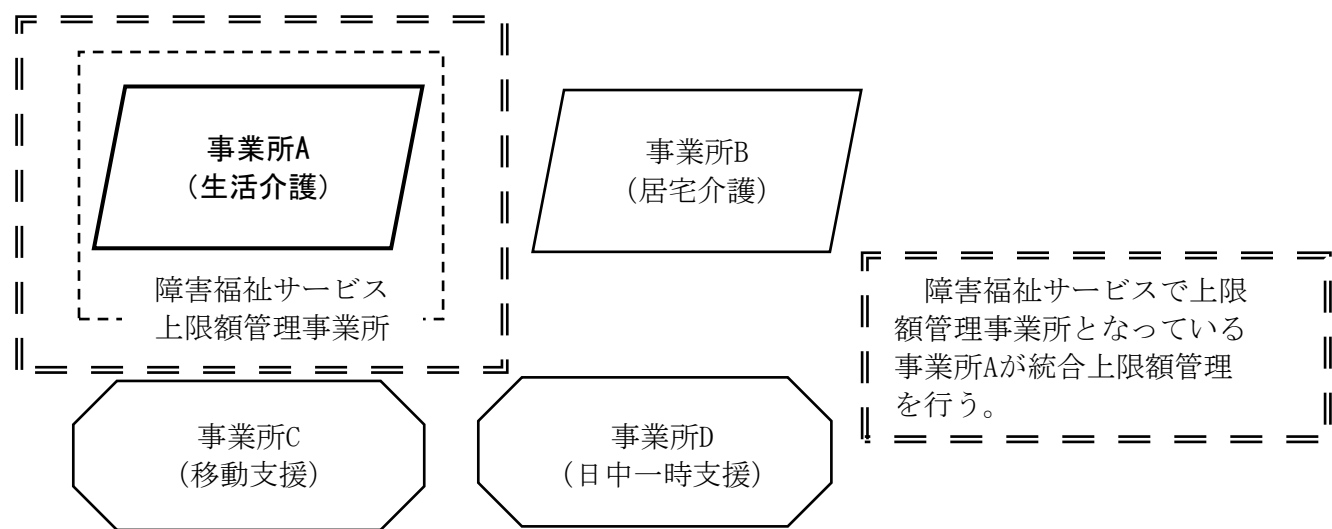
- (ア) 移動支援
- (イ) 生活サポート
- (ウ) 訪問入浴サービス
- (エ) 日中一時支援

上記の中で最も高い順位の事業所と複数箇所契約している場合は、原則として契約量が最も多い事業所が管理事務を行う。

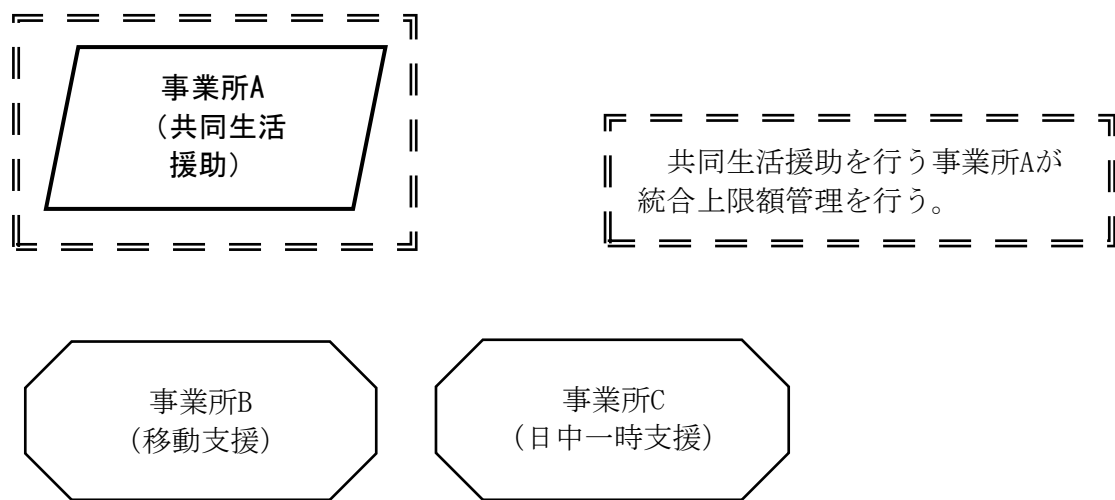
統合上限額管理事業所選定例



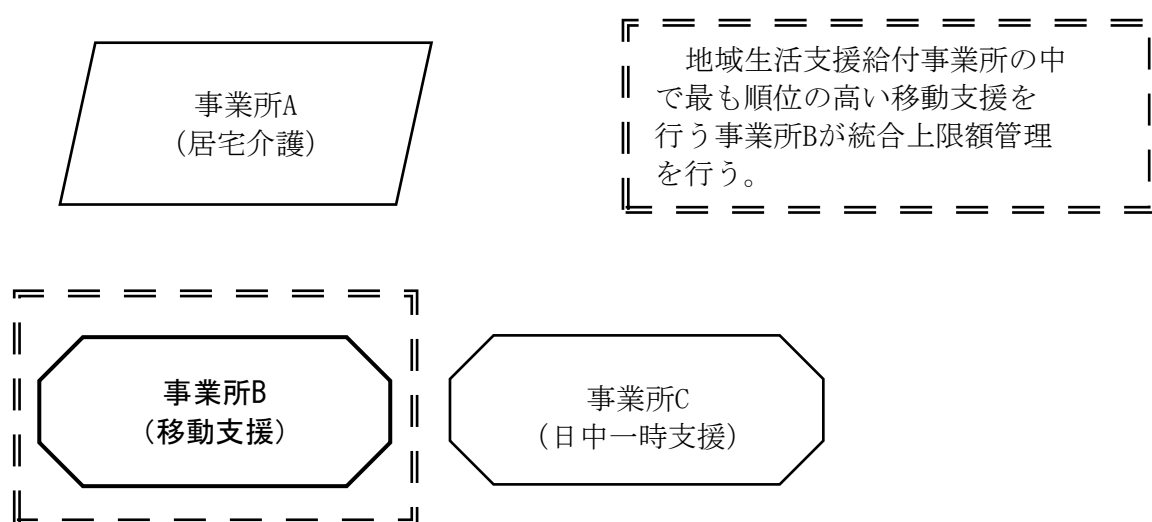
例 1) 障害福祉サービスと併給、障害福祉サービスで上限管理有り



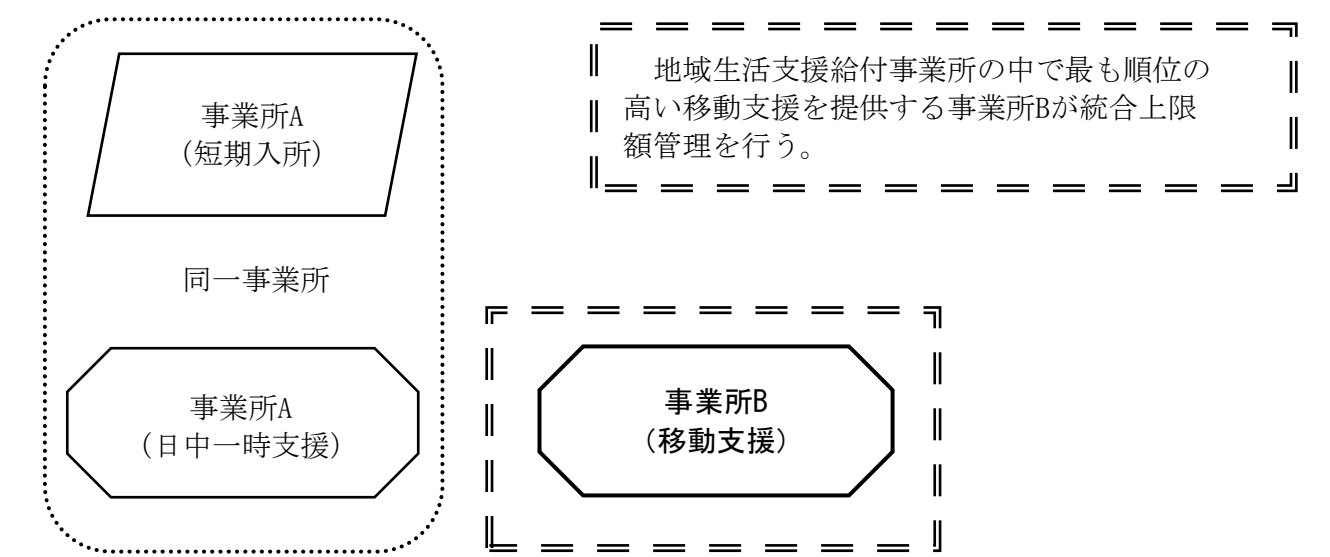
例 2) 障害福祉サービスと併給(グループホーム入居)、障害福祉サービスで上限管理無し



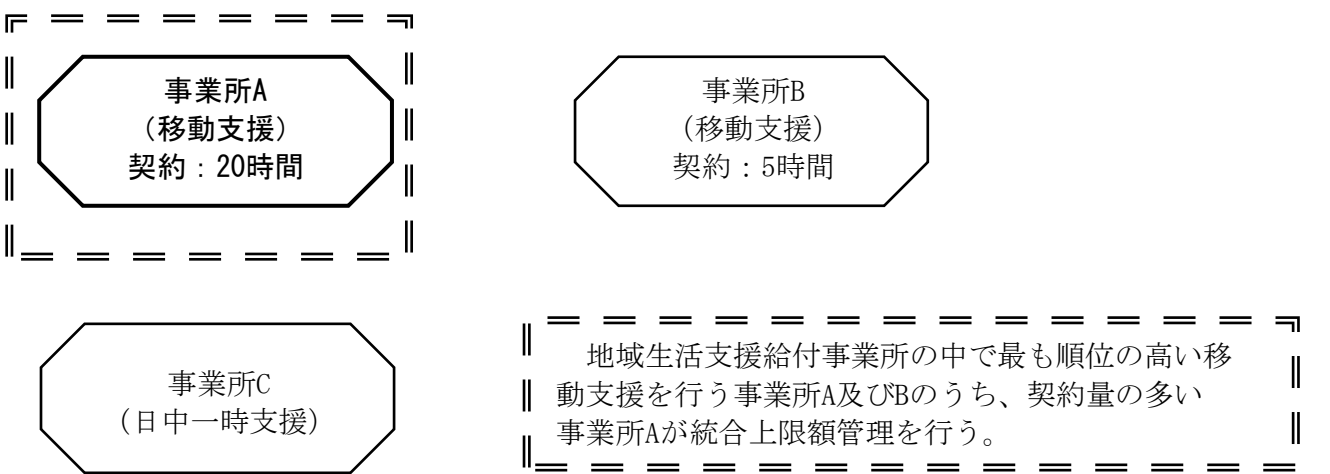
例 3) 障害福祉サービスと併給、障害福祉サービスで上限管理無し



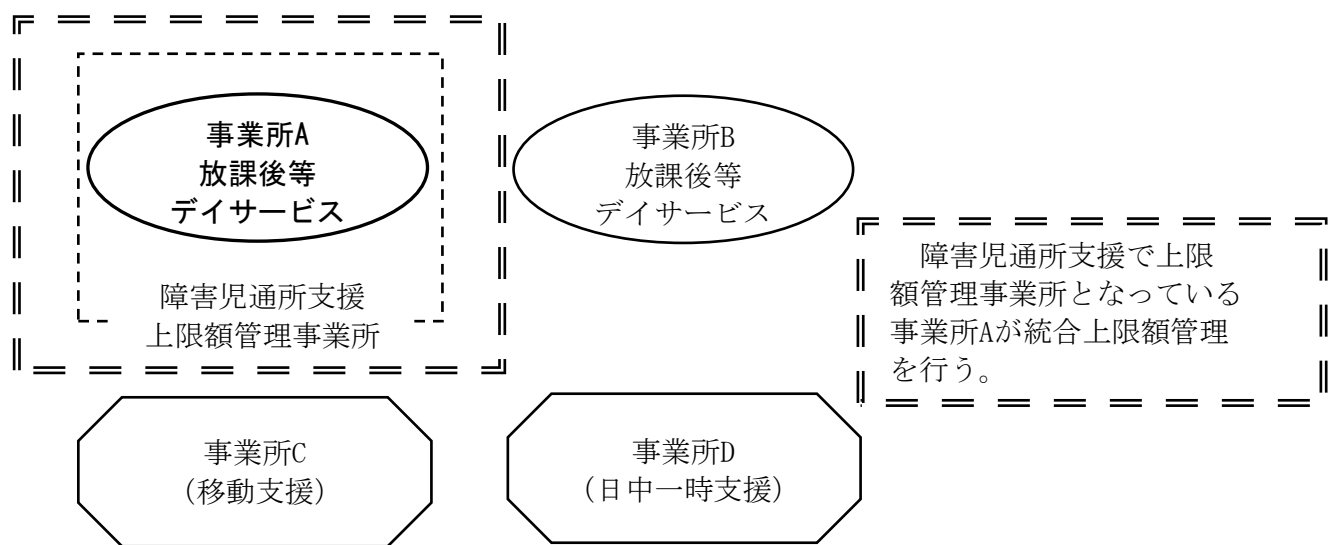
例 4) 障害福祉サービスと併給、障害福祉サービスで上限管理無し、同じ事業所が障害福祉サービスと地域生活支援給付の双方を提供



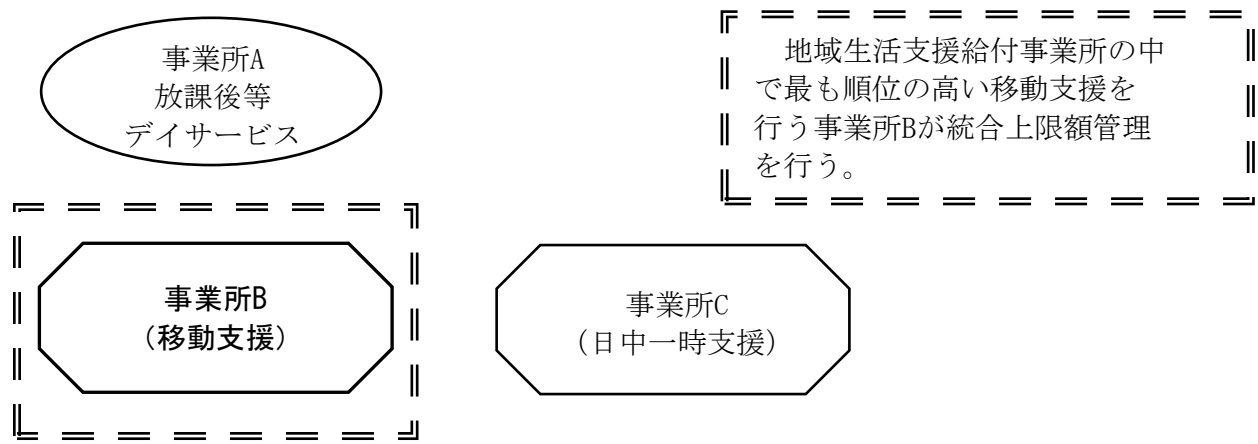
例 5) 地域生活支援給付単給、移動支援で複数事業所と契約



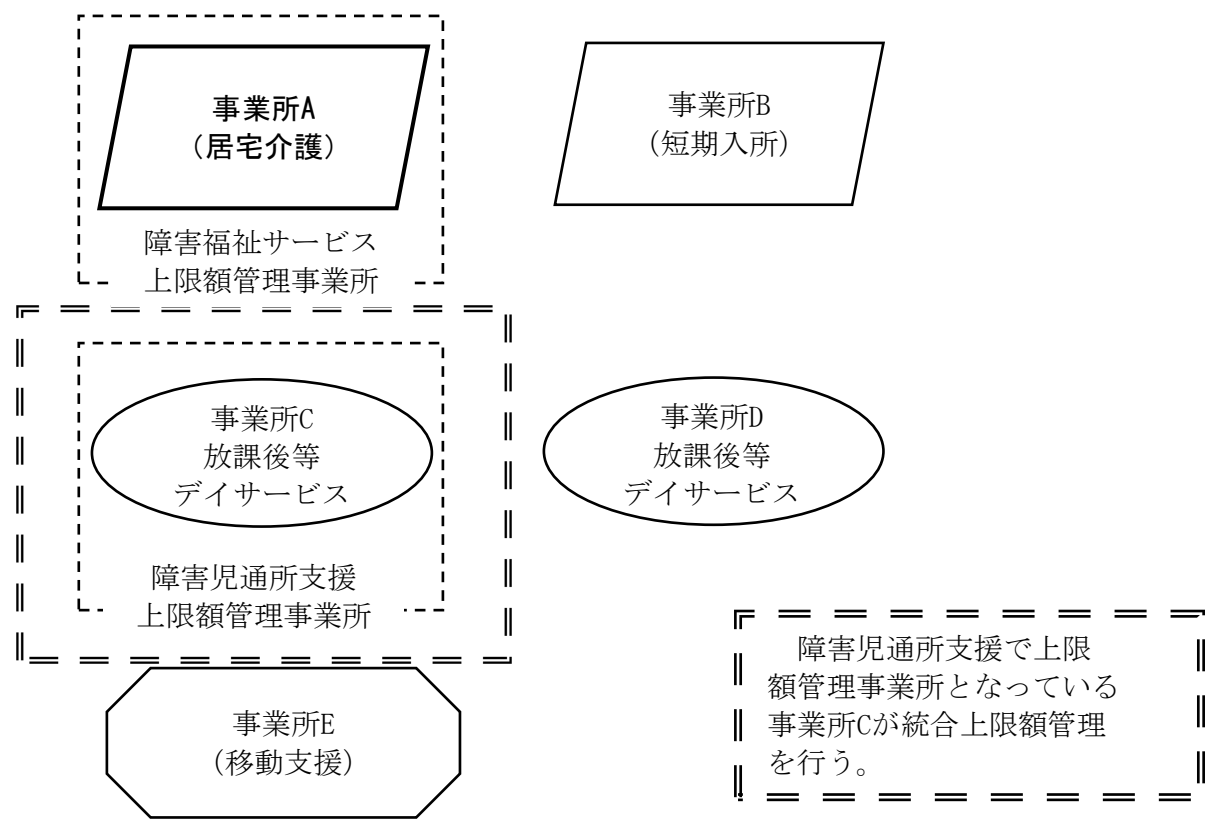
児例 1) 障害児通所支援と併給、障害児通所支援で上限管理有り (※)



児例 2) 障害児通所支援と併給、障害児通所支援で上限管理無し (※)



児例 3) 障害福祉サービス及び障害児通所支援と併給、障害福祉サービス及び障害児通所支援で
上限管理有り (※)



(3) 統合上限額管理に係る事務処理について

統合上限額管理に係る事務処理については、原則として障害福祉サービスにおける利用者負担上限額管理事務と同様の仕組みで行うこととする。詳細は千葉市地域生活支援給付費請求事務の手引き(平成24年4月版)をご参照いただき、事務依頼届の作成等をお願いしたい。

なお、統合上限額管理においては、地域生活支援給付の登録を受けていない事業者であっても、障害福祉サービスにおける上限額管理事業所等(2)において順位が最も上の事業所であればみなし登録事業者(後述)として統合上限額管理をお願いすることとなることから、事務取扱いについては以下のとおりとする。

ア 登録地域生活支援給付サービス事業者は、新たに受給者と契約を締結した際、受給者証において統合上限額管理対象者であることを確認した場合は、速やかに統合上限額管理事業者に契約締結の旨を連絡する。

また、自らが契約を行うことにより統合上限額管理対象者となることが判明した場合、障害福祉サービス、障害児通所支援及び地域生活支援給付すべての受給者証を確認し、利用者がルールに基づいて統合上限額管理事業所となる事業所を選定できるよう援助をお願いする。

(登録地域生活支援給付サービス事業者でない事業者が統合上限額管理を行うこととなる場合、本市の統合上限額管理の周知が必ずしも行き届かない可能性があるため)

イ 関係事業所となった登録地域生活支援給付サービス事業者は、サービス利用が無かった月においても、その翌月3日まで必ず統合上限額管理事業所に対し、対象者の地域生活支援給付の利用が無かった旨の連絡を行うこと。

(4) 統合上限額管理加算について

統合上限額管理を行った事業所に対し、管理結果が管理結果票上どの結果でも所定の単位数を加算する。

また、登録地域生活支援給付サービス事業者でない事業者が統合上限額管理を行った場合においても、みなし登録地域生活支援給付サービス事業者として加算のみを請求することができる。

加算単位数 158単位

上記加算については、自事業所の登録地域生活支援給付サービスの種類に関わらず、利用者がその月に利用した地域生活支援給付サービスのうち統合上限額管理事業所決定ルールにおいて順位が最も上のサービス種類に係るコード(=サービス種類コードが最も若いサービスの統合上限額管理加算コード)で請求する。

- サービス種類コード 02 移動支援
- 03 生活サポート
- 04 訪問入浴サービス
- 05 日中一時支援

※ なお、上記において「管理を行った」とは、対象者が地域生活支援給付を実際に利用した場合を言い、契約はあったが地域生活支援給付の利用が無かった場合においては加算を行わないこととする。

(5) みなし登録地域生活支援給付サービス事業者について

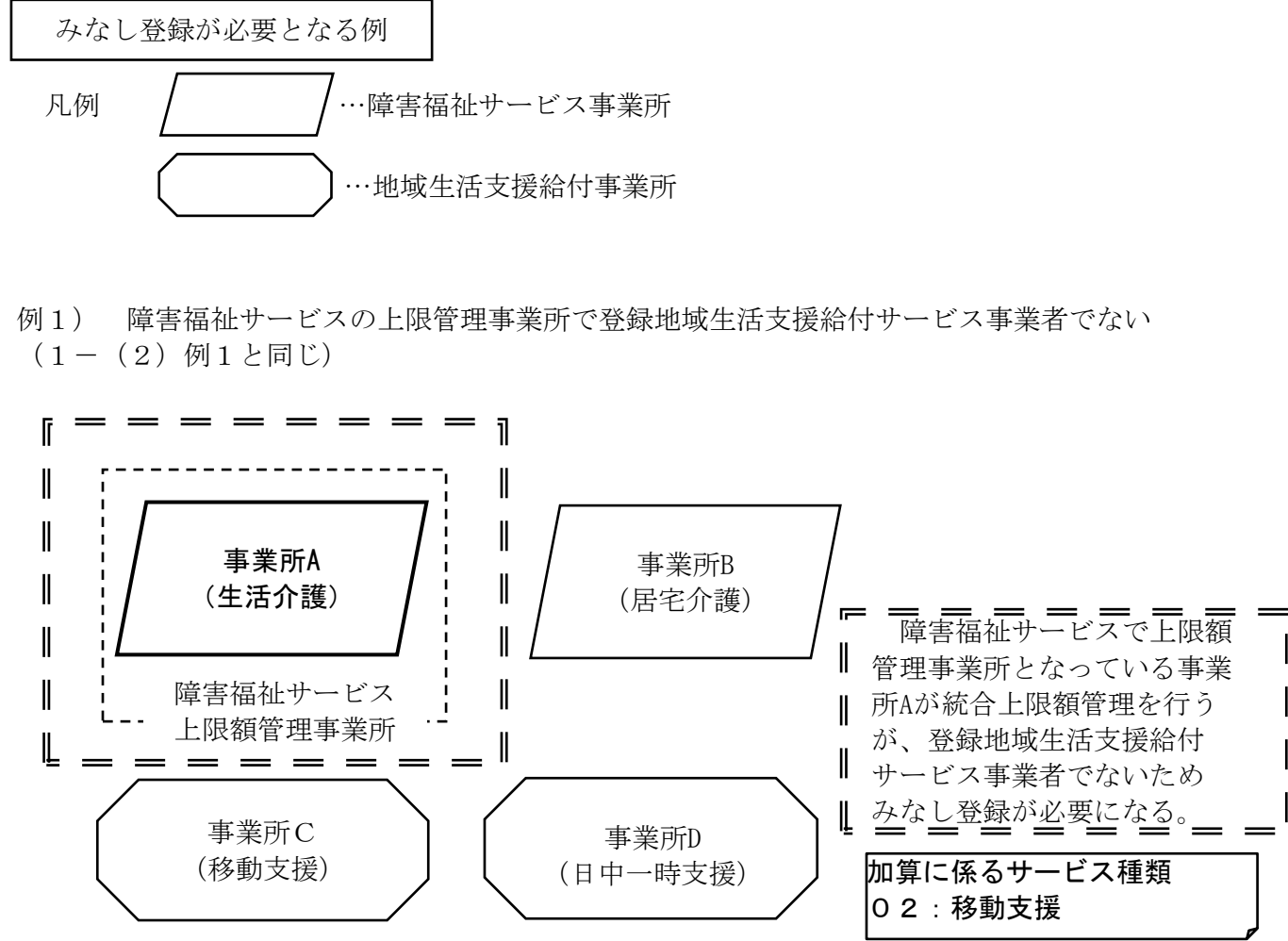
統合上限額管理加算を行うこと等の事務取扱い上、以下の事業所が統合上限額管理を行う場合においてはみなし登録地域生活支援給付サービス事業者の登録を行う必要があるのご協力願いたい。

なお、登録については「千葉県登録地域生活支援給付サービス事業者みなし登録届」を障害者自立支援課あて電子メールにてご提出いただきたい。（書式についてホームページアドレス及び電子メールアドレスは資料末尾をご参照いただきたい。）

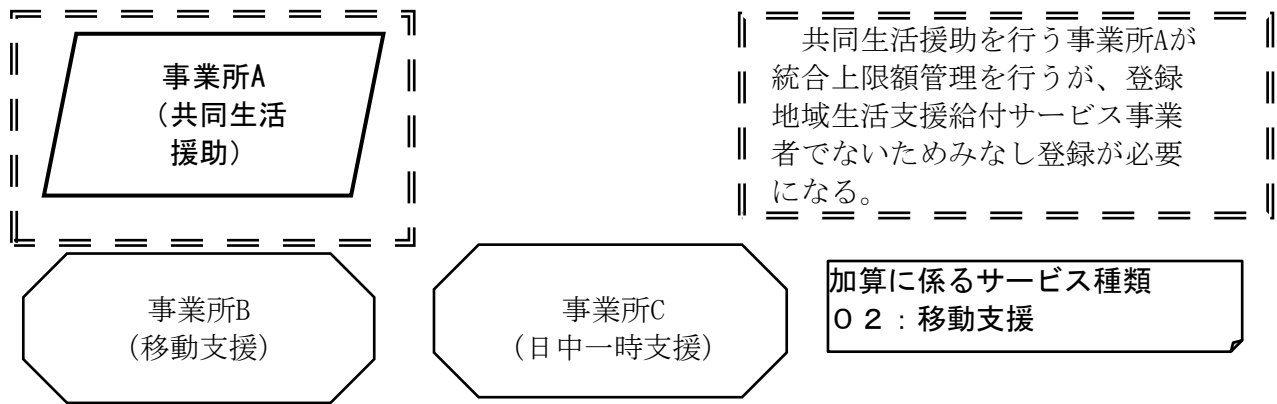
ア 登録地域生活支援給付サービス事業者でない事業所

イ 登録地域生活支援給付サービス事業者であるが、対象者が利用する地域生活支援給付のサービス種類のうち、自事業所が登録を受けているサービスより順位が上のサービスが含まれる。

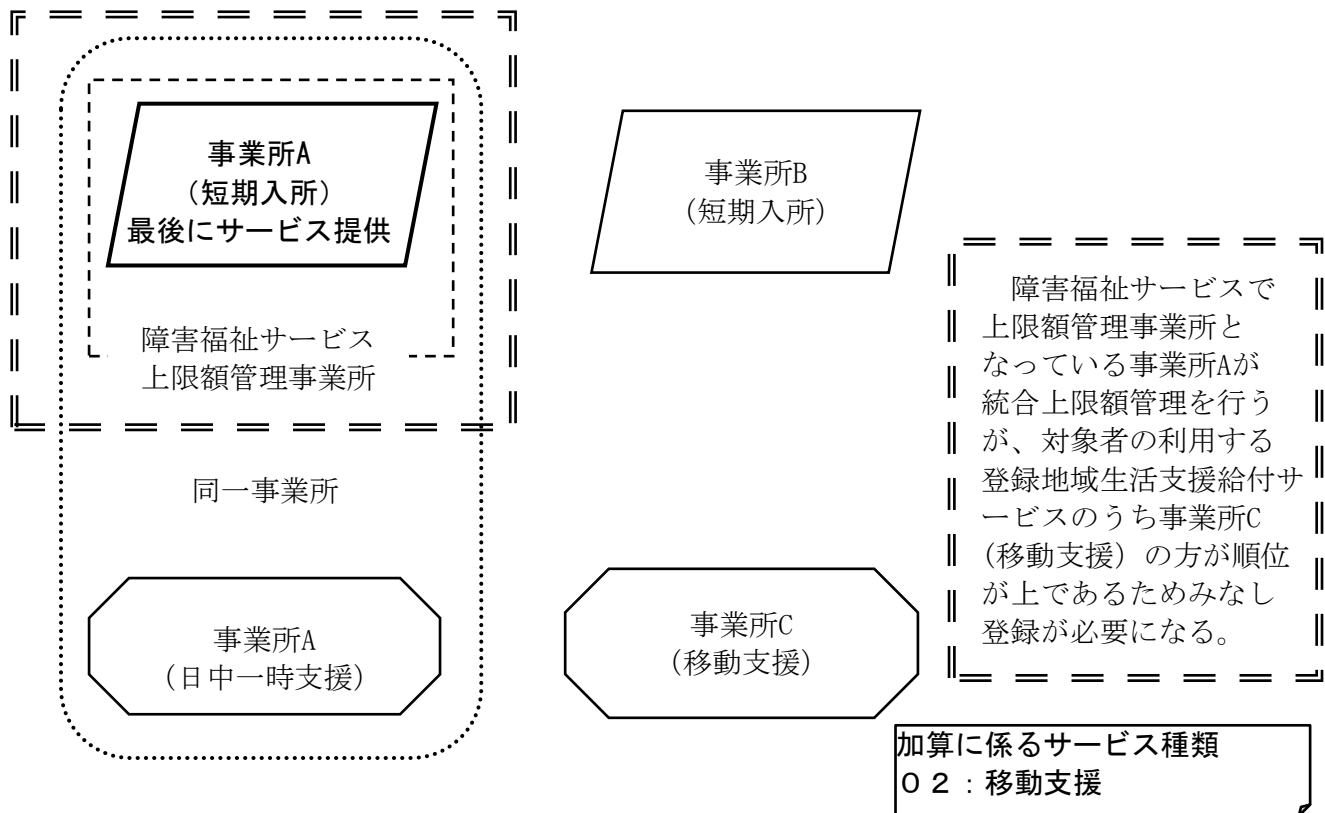
→ (4) のルールにより、登録を受けているサービス種類の加算ではなく、サービス種類コードが最も若いサービスの加算で請求することとなるため、支払い事務上当該サービス種類での統合上限額管理加算を支払うことができるようにするための登録が必要となるため。



例2) 障害福祉サービスと併給(グループホーム入居)、障害福祉サービスで上限管理無し(1-(2)例2と同じ)



例3) 障害福祉サービスと併給、障害福祉サービスで上限管理有り、当該上限額管理事業所で障害福祉サービスと地域生活支援給付の双方の登録があるが、他の登録地域生活支援給付サービスも利用



- 千葉市障害者自立支援課ホームページアドレス
<http://www.city.chiba.jp/hokenfukushi/koreishogai/jiritsu/index.html>
- 千葉市障害者自立支援課電子メールアドレス
shogaijiritsu.HWS@city.chiba.lg.jp

2 千葉市地域生活支援給付受給者証への記載

(三)

注意事項欄

1 千葉市地域生活支援給付のサービスを受けるときに支払う金額は、原則としてサービスに要した費用の1割です。ただし、この証の第1面の「利用者負担上限月額」が障害福祉サービスと合算の1か月あたりの上限になります。

2 この証の記載事項に変更があったときは、14日以内に、この証を添えて千葉市（各区窓口）にその旨を届け出てください。

3 この証を破損したり、汚したり又は紛失したときは、速やかに各区窓口へ届け出て、再交付を受けてください。また、再交付を受けた後、紛失した証を発見したときは、速やかに千葉市に返還してください。

4 受給者の資格がなくなったときは、直ちにこの証を千葉市に返還してください。

5 支給決定内容欄に記載されていないサービスについては、給付費の支給は受けられません。他の種類の給付を受ける必要がある場合は、千葉市（各区窓口）に支給申請をしてください。また、支給量の変更を必要とする場合は、支給量変更の申請をすることができます。

6 地域生活支援給付事業のサービスを受けようとするときは、必ずこの証を登録事業者に提示し、この証の第四面以降において支給量の管理を行ってください。

7 記欄が足りなくなった場合は、本証を各区窓口に持参し、欄の追加を申し出てください。

利用者負担上限額管理対象者該当の有無	有
利用者負担上限額管理事業所名	〇〇ヘルパーステーション
障害福祉サービス受給者証番号	2000000011

1000000011

障害児通所支援受給者証番号 XXXXXXXXXXXX

障害児通所支援の支給決定がある場合は、千葉市地域生活支援給付受給者証の第三面に障害児通所支援受給者証番号を記載します。

8 / 8